

富山県における人口変化(現在と2050年後の予想)

少子化・働き手年齢・高齢化について厚生労働省の人口問題研究所発表より☞考察

年次	総人口	若年代	働き手年代	高齢者年代
		15歳未満	15～64歳	65歳以上
昭和40年 1965	1,025,500	246,300	709,700	69,500
昭和45年 1970	1,029,700	229,700	716,800	83,200
昭和50年 1950	1,070,800	246,400	723,000	101,300
昭和55年 1980	1,103,500	249,900	730,100	123,400
昭和60年 1985	1,118,400	234,000	740,700	143,600
平成2年 1990	1,120,100	195,600	754,100	168,900
平成7年 1995	1,123,100	170,000	751,600	201,300
平成12年 2000	1,120,900	157,200	730,500	232,700
平成17年 2005	1,111,700	149,500	702,900	258,300
平成22年 2010	1,093,200	141,900	662,100	285,100
平成27年 2015	1,070,070	132,900	616,100	316,900
令和2年 2020	1,034,800	115,200	568,100	333,000
令和5年 2023	1,006,400	107,500	551,600	328,700
ピーク年☞R5の変化率	90%	43%	73%	99%

【 働き手人口推移 2020☞2050 25年後の富山県人口 】

ピーク年人口	1,123,100	249,900	754,100	333,000
2020年人口	1,035,000	115,200	581,617	333,000
2050年人口の想定	762,000	69,000	337,000	356,000
ピーク年☞2050 変化	67.8%	27.6%	44.7%	106.9%
2020 ☞2050 変化	73.6%	59.9%	57.9%	107.0%

【 考察 】

- ① 全国の都市部を除く全ての都道府県人口は、著しく減少し富山県においても25年後には人口がピーク時の67.8%に減少。
- ② 64歳未満の人口減少(ピーク時の58.2%に)は、経済、商工業、教育、社会や地域や芸能文化ほか 全てにおいて生産力・購買力・各種活動などが著しく衰退されると思われる。
- ③ スポーツ界では、プロやアマチュア問わず選手・応援・観戦者などにおいても変化する。また近年、スポーツチャンバラ、スケボー、スノーボード、マウンテンバイク、雪合戦ほか競技が多数増え、なんと『eスポーツ:エレクトロニックスポーツ』が世界的に普及しIOCではオリンピックの検討をしているとか？ 現在日本では約200も競技種目があるそうだ。
- ④ 明日を担う学生においては、少子化の拍車に 塾、趣味の多様化、無趣味化、個人行動など今までの異なる状況、また教育現場において働き方改革が進み、科学文部省では学統廃合、学校単位の部活動から枠を越えた地域型スポーツ移行を奨励している。
- ⑤ 65歳以上の高齢者人口は、過去ピーク時より107%となり『 高齢化時代に突入 』。
- ⑥ 私たちは、これらのデータより 人口減少や社会生活の未来を予測し これから戦略的、積極的、継続的に進めて行きましょう！